

reAL krome sputter krome

取扱説明書（ホビー）

SHOW UP が提案する ALUMINIUM PAINT、reAL Krome は アルミ真空蒸着膜をナノレベルまで粉碎し非常に滑らかな表面を持つアルミニウム顔料です。

一方 sputter Krome も酸化クロムを上記と同様に粉碎したクロムニウム顔料です。

どなたにでもペイントして頂けるシンプルな塗料で、均一な表面で意匠性が高く今迄に無い高輝度なメッキ調コーティングが可能になりました。

reALKrome と sputterKrome は希釈済みですのでそのままご使用頂けるクローム系メッキ調塗料です。

乾燥後は非常に塗膜が強固な為、手で過度に触ることや溶剤等で拭くことをしなければクリアーコートをする必要性が無く、高い輝度を保ちお楽しみ頂ける塗料です。

また HOBBY の塗装にてご使用の場合、ベースカラーを塗装する場合や塗装しない場合、ポリカの裏塗りなどご使用方法は様々です。

下記使用方法をよくお読みになりご利用下さい。

・ベースカラーを使用する場合

通常色の塗装を行う場合と同様の洗浄・脱脂をします。

ブラック・グレー・ホワイトなどベースとなる色を塗装します。

上記ベースカラーによりメッキ感のトーンを調整する事が可能です。

ラッカー系の塗料もベースカラーとしてご使用可能ですが、塗膜が強くと艶が出る物をお使い下さい。

各ベースカラーはペイント後しっかりと乾燥させて下さい。

常温乾燥 20℃以上で、24 時間以上の乾燥を目安として下さい。

ベースカラー乾燥後、クローム塗料を塗装して下さい。

クローム塗料を綺麗に仕上げるポイントはベースカラーの鏡面度の高さでクローム塗料の厚塗りによりベースカラーがクローム塗料の溶剤に溶けない様に塗装する事が重要となります。

乾燥設備がある場合、乾燥時間の短縮になり、より美しいクロームに仕上げる事が可能です。

厚塗りはせずに 1 コートずつ乾かしながら薄くコートし 5~8 回塗り、仕上がりを確認して下さい。

クローム乾燥後、必要であればクリアーコートをして下さい。

クロームの乾燥は常温乾燥 20℃以上で、24 時間以上の乾燥を目安として下さい。

・プラ直塗りをする場合

細かな傷をスーパーカットコンパウンド PC・FC を使用し除去をして下さい。

中性洗剤やアルコール系溶剤で油分や汚れを除去して下さい。

その後、クローム塗料を薄く重ねていきます。

注) 厚塗りをするとプラが溶けてしまうことがあります。

厚塗りはせずに 1 コートずつ乾かしながら薄くコートし 5~8 回塗り、仕上がりを確認して下さい。

クローム乾燥後、必要であればクリアーコートをして下さい。

クロームの乾燥は常温乾燥 20℃以上で、24 時間以上の乾燥を目安として下さい。

・ポリカボディー裏塗りの場合

ポリカボディーの塗装面（裏面）を脱脂・洗浄し、必要であればプライマー処理をします。
クローム塗料は、密着性が良く脱脂や洗浄をしていれば十分な密着を得られます。
サンディングやプライマー処理をすると密着は向上しますが、クロームが曇ることがあります。
クローム塗料を薄く5~8回塗り仕上がりを確認して下さい。
クロームの乾燥は常温乾燥20℃以上で24時間以上乾燥を目安として下さい。
クローム塗料乾燥後、裏打ちに各ベースカラーを塗装して下さい。
注）ラッカー塗料は、ポリカにご使用して頂けませんので裏打ちとして使用しないで下さい。
推奨塗料：ベースカラーリアルブラックマイクロボトル（EBC03MCB）
厚塗りはせずに、1コートずつ乾かしながら薄くコートし、透けなくなれば裏打ち完了です。

・ベースカラー推奨塗料及び仕様

ハイパークローム Ag1K ベースカラーブラック マイクロボトル（HKAG-1KB）
各ベースカラー塗装後ホビー専用1液型ウレタンクリアー（SU-H1KC）仕上げ
各ベースカラー塗装後ホビークリアーセット（HCS-MCB）仕上げ
各ベースカラー塗装後ハイパークローム Ag クリアーマイボトルセット（HKAG-CLMS）仕上げ

・クリアーコート推奨塗料

KROME clear（KCL-180、KCL-900）
ハイパークローム Ag1K トップコートクリアーマイクロボトル（HKAG-1KC）
ホビー専用1液型ウレタンクリアー（SU-H1KC）
ホビークリアーセット（HCS-MCB）
ハイパークローム Ag クリアーマイボトルセット（HKAG-CLMS）

・注意事項

- ・DIVA Kandy を使用し、お好きなカラーにすることも可能です。その場合、クロームをよく乾燥させ、Kandy カラーを一度に厚塗りせず薄くコートして下さい。
- ・マスキングをすると剥がれる可能性があります。
- ・ラッカー系塗料を重ねると変色することがあります。
- ・クロームを塗装する前にベースカラーの塗装面に触れないようにして下さい。油分により指紋が塗装後に浮き出ることがあります。
- ・クロームの塗装失敗したときは、クロームをスーパーカットコンパウンドで磨き落とし、中性洗剤やアルコール系脱脂剤で洗浄してからクロームを再塗装して下さい。



株式会社シグナル SHOW UP 事業部

〒562-0024 大阪府箕面市栗生新家 2-6-8 Tel.072-727-7123 Email. info@showup.jp